

# 安 全 管 理



# 安 全 管 理

20. 安 全 管 理	
20. 1 交通安全の管理 .....	215



## 20. 安 全 管 理

### 20. 1 交 通 安 全 の 管 理

1. 工事施工中の交通安全対策については、当該道路管理者と所轄警察署長の施工条件及び指示に基づき、適切に交通安全を施し、かつ、通行者等の事故防止対策を講じること。

#### <解 説>

1. 工事標識の設置基準は、次によること。

なお、この基準に規定されていない事項であっても、現場等の状況を勘案し、適切な処置を施すこと。

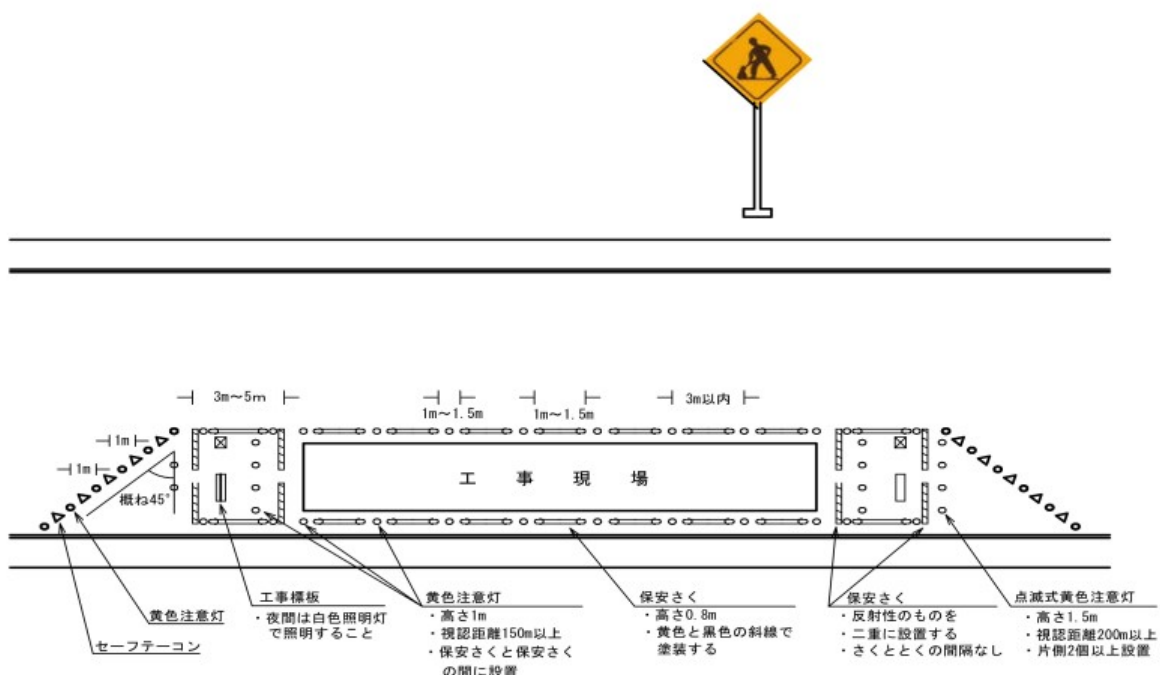
- (1) 夜間工事を行う場合は、注意灯（赤色灯又は黄色灯）及び照明灯を必ず設置すること。
- (2) バリケード及び標柱は、状況に応じて併設すること。

表 20-1 工事標識の種類と設置基準

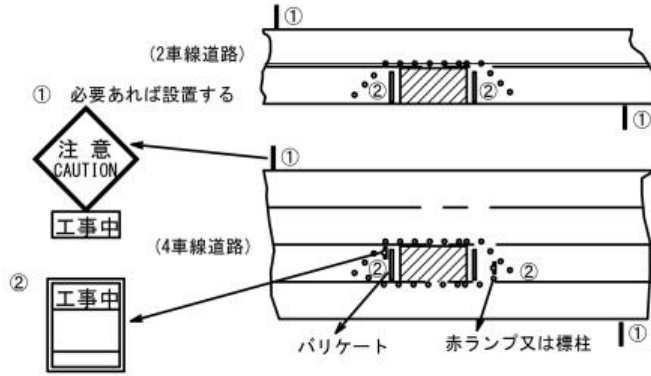
	種類	設置基準
標示施設	工事標識	工事区間の起終点1、様式2及び様式3に示す標識板を設置する。
	水道工事中	
	お願い	
	夜間又は昼夜間	夜間又は昼夜兼行作業を行う場合は(様式2)上に設置する。(様式4)
	道路使用・占用許可	工事現場(両端)に設置する。
本標識	まわり道(案内)	まわり道を示す必要がある交差点の手前に左側の路端(様式6)
	工事中(警戒)	道路における工事中又は作業中である区間の両面及びその手前50メートルから200メートルまでの地点における左側の路端(様式7)
	徐行(規制)	車両が徐行すべきことを指定する道路の区間及び場所内の必要な地点における左側の路端(様式8)
補助標識	注意	工事現場手前100メートルの位置に道路標識「注意」に補助板を附して設置する。(様式9)
	歩行者専用	歩行者専用道路の入口その他必要な路端(様式10)
防護施設	保安棚 注意灯 標柱	車両等の進入を防ぐ必要のある工事箇所には、両面にバリケードを設置し、交通に対する危険の程度に応じて赤ランプ、標柱を用いて工事現場を囲むものとする。(様式11~18)

2. 工事現場防護施設の設置方法は、次によることを標準とする。

(1) 道路片側部を施工する場合

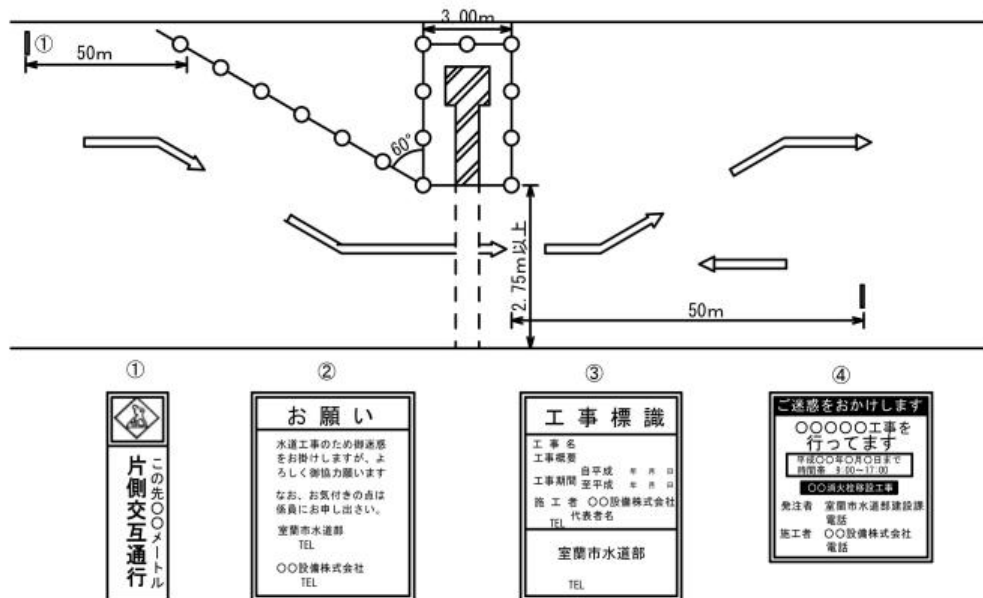


(2) 車線の一部分を施工する場合

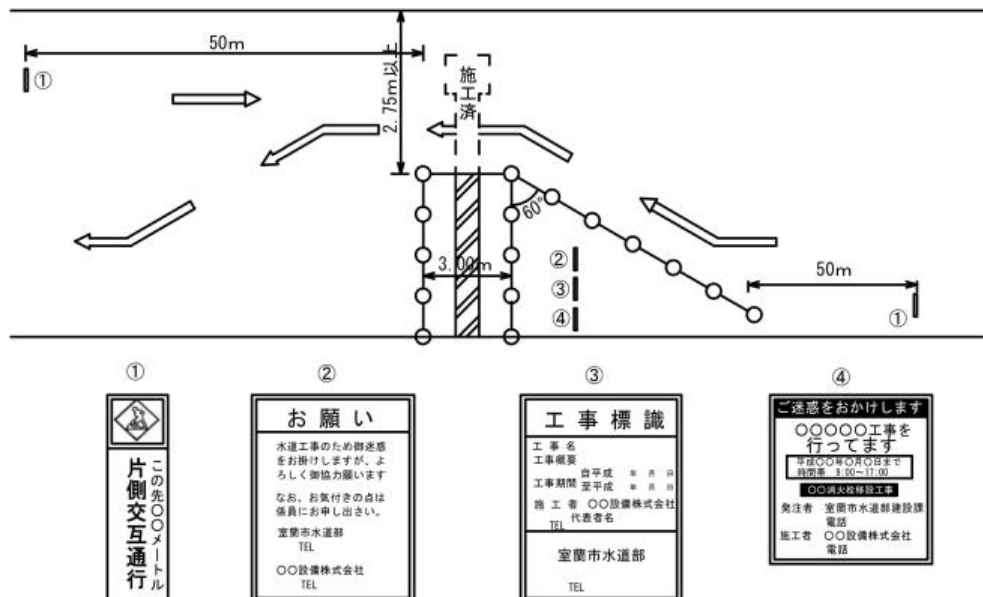


(3) 道路横断で施工する場合

ア 横断 1 回目

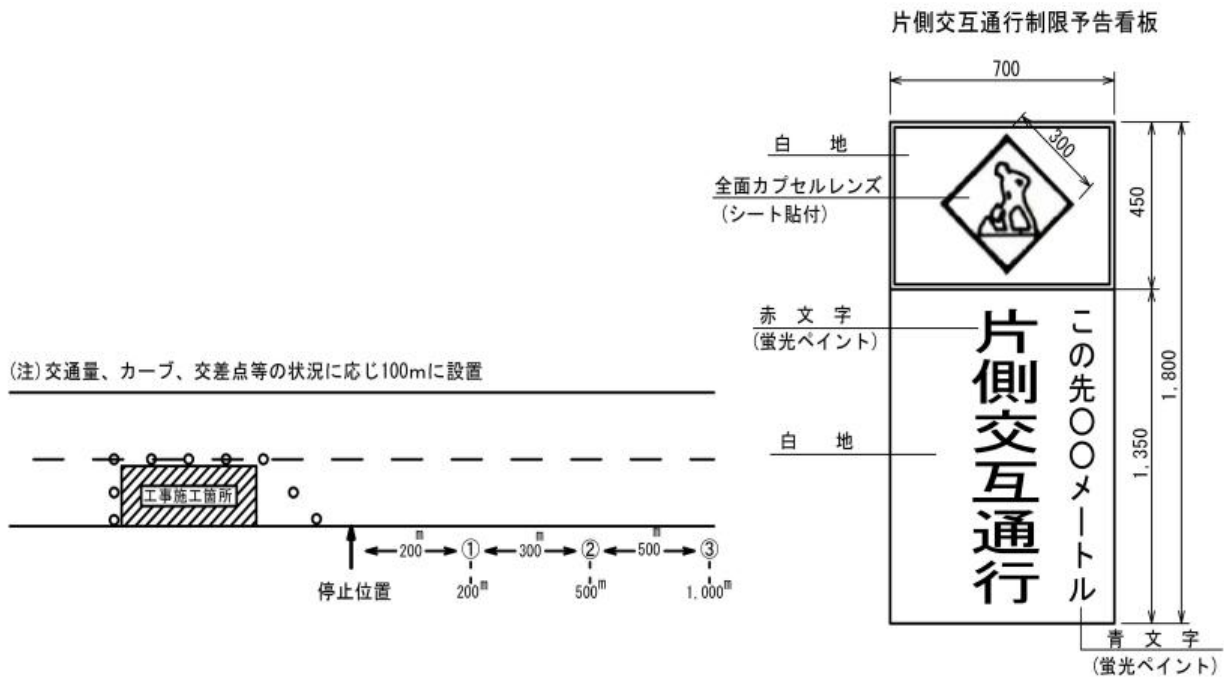


イ 横断 2 回目



### 3. 片側交互通行現場の安全対策

- (1) 工事現場での交通事故を防止するため、片側交互通行現場の存在を事前に運転者に知らせる「予告看板」を設置すること。
- (2) 予告看板（様式 17）は、標示施設と重複しないよう設置すること。
- (3) 工事現場に公安委員会の委任信号機を設置する場合、又は交通誘導員を配置する場合においても予告看板を設置すること。





#### 4. 工事標識の規格

表示施設、本標識、補助標識及び防護施設の規格は下記によること。

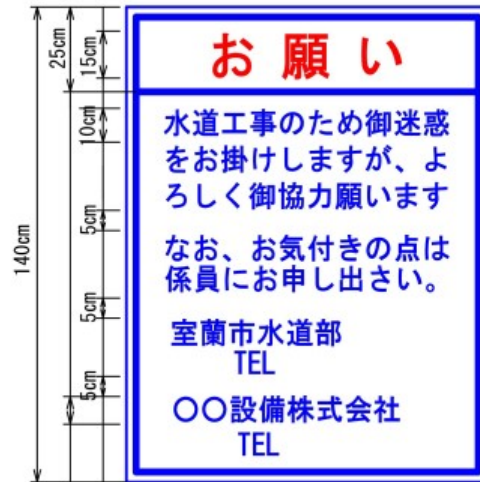
##### (1) 表示施設 (単位 cm)

##### ア 表示施設

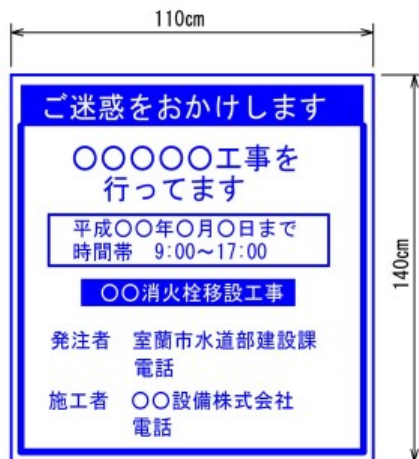
様式 1



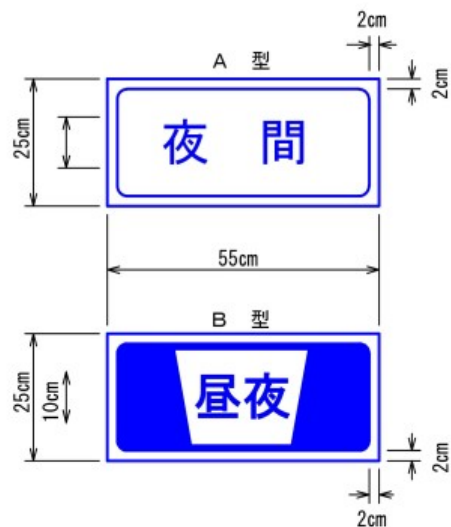
様式 2



様式 3

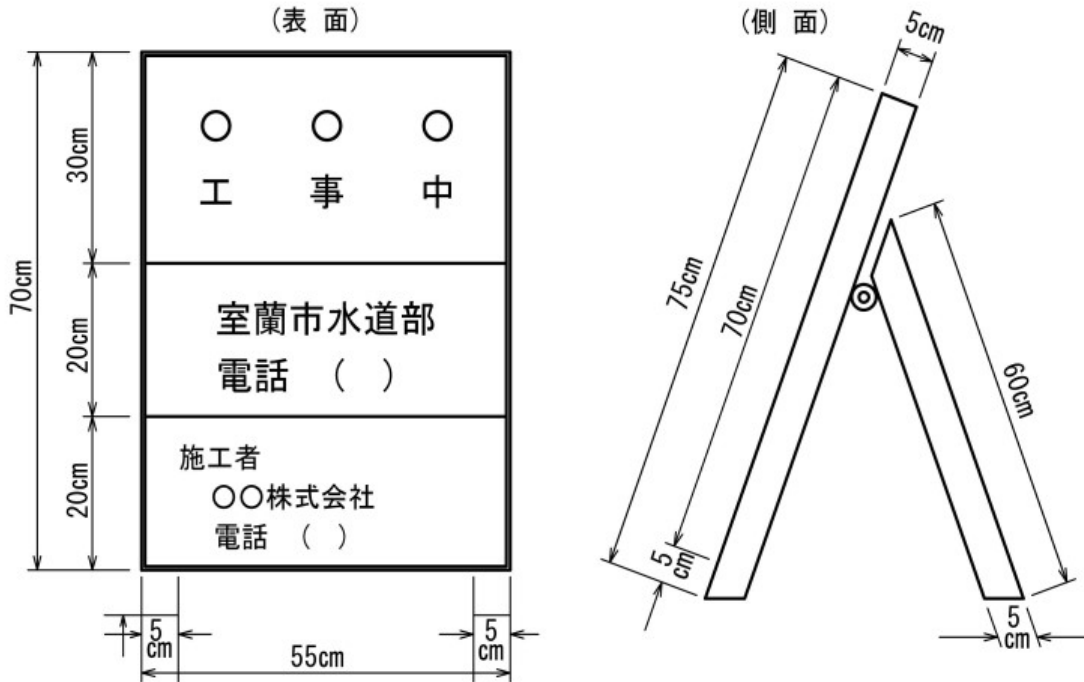


様式 4



注 道路工事中(様式2)の上につける 作業が夜間の場合はA型を、 昼間の場合はB型を用いる

# 簡易工事表示板



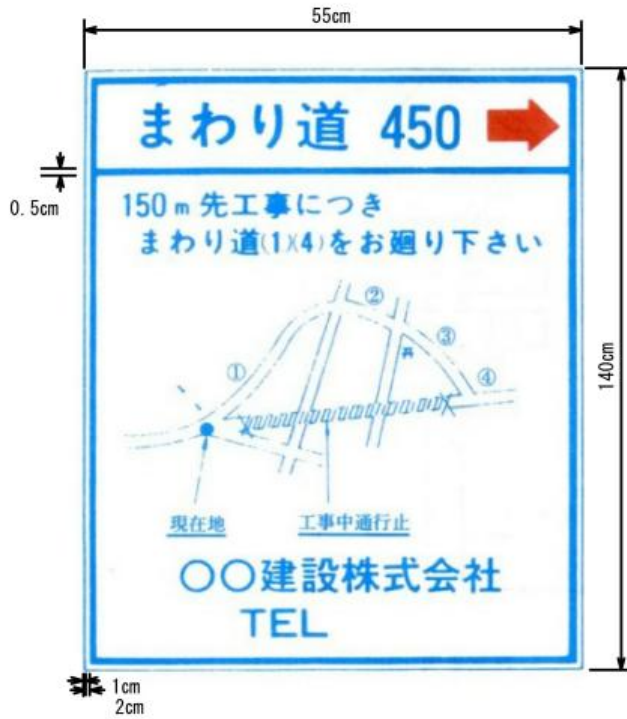
様式 5

道路使用・専用許可（協議）表示板	
許可の内容	作業のため 工事
許可の期間	平成 年 月 日 から 平成 年 月 日 まで
申請者の 住所・氏名	市 町 丁目 室蘭市寿町1丁目11-16 ○ ○株式会社 室蘭市公営企業管理者
許可の番号	道 路 使 用 道 路 占 用 第 号 第 号
許可の年月日	年 月 日 年 月 日
許 可 者	(例) 室蘭警察署長 (例) 室 蘭 市 長

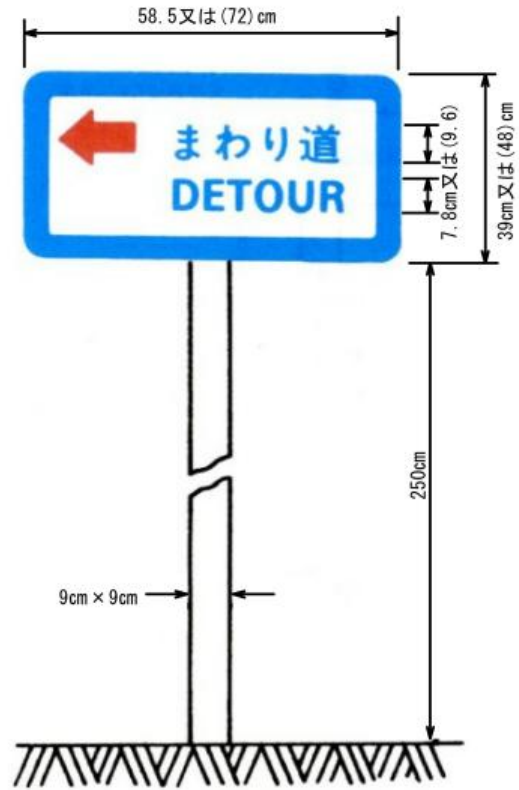
1. 大きさは、たて85cm、よこ100cmとする。
2. 材質は、木製又は金属製とする。
3. 地色は、白色とし文字は黒又は青色とする。

イ 本 標 識

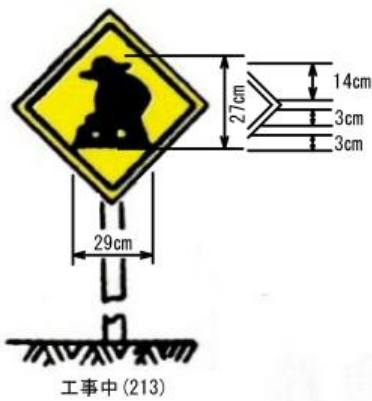
様 式 6



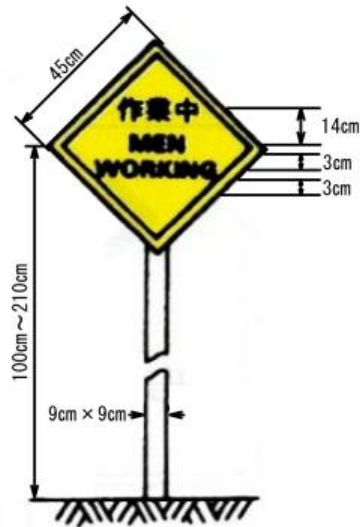
様 式 6-1



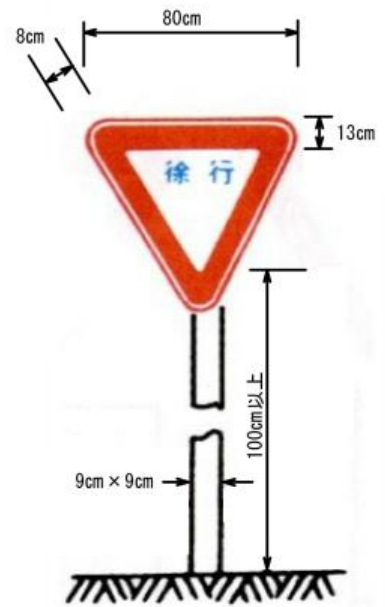
まわり道 (120-A)



工事中 (213)



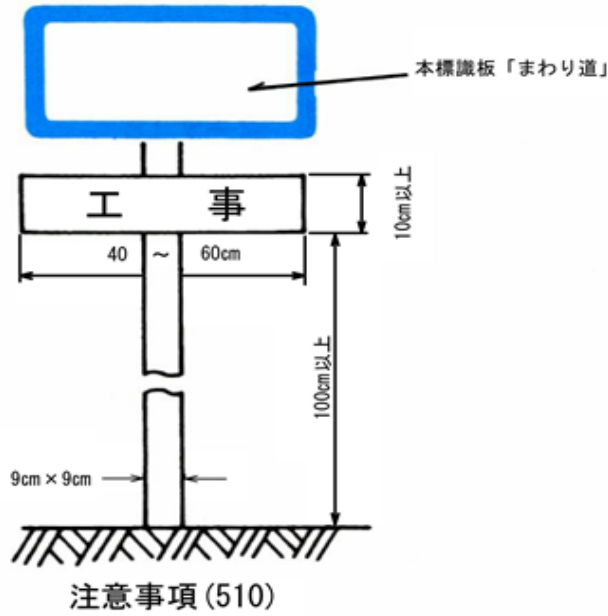
工事中 (214)



徐行 (329)

ウ 補助標識

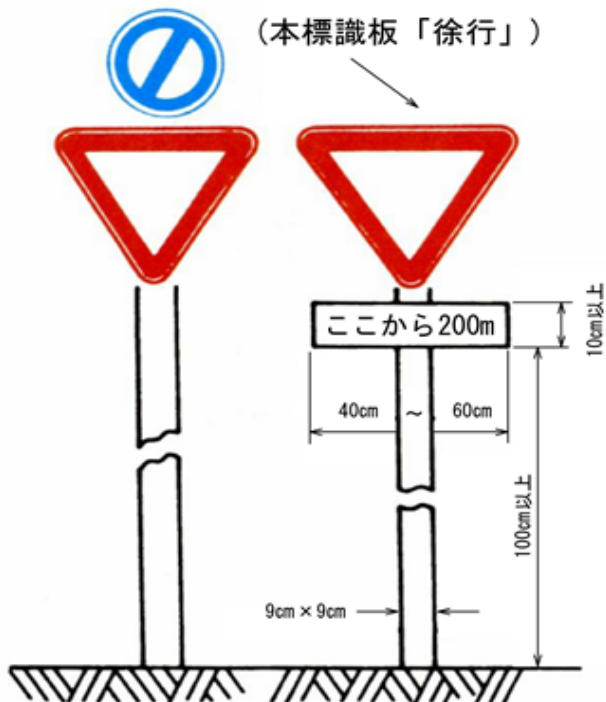
様式 9



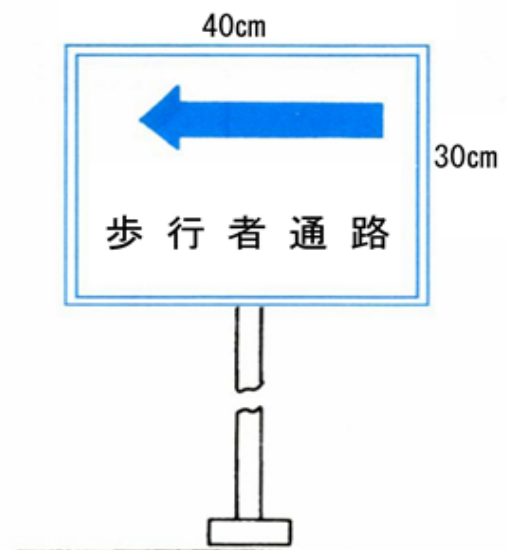
様式 9-1



様式 9-2



様式 10



工 防 護 施 設

鉄製Aバリケード(アングル製)

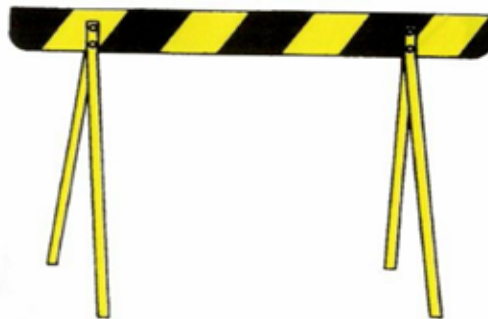
様 式 11



寸法 全高800mm 全長1200mm

ジスロン製バリケード

様 式 12



寸法 全高800mm 全長1200mm

ガードフェンス

様 式 13

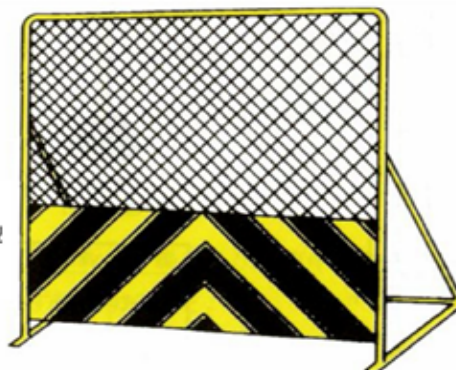


全鋼製 コンクリート台付  
寸 法 1300mm × 1800mm

ガードフェンス

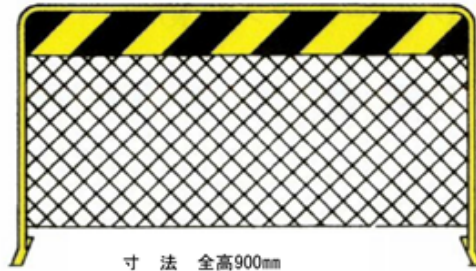
様 式 14

黄色・黒トラ模様型



全鋼製  
寸 法 1800mm × 1800mm  
平鉄足2本  
後支へ丸パイプ2本付

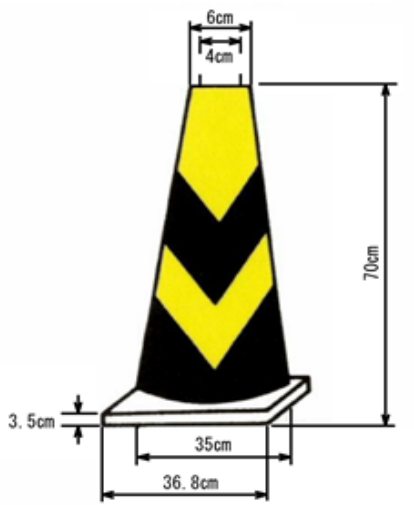
鉄製金網型ミニフェンス 様式 15



寸法 全高900mm  
全長1500mm  
標識板 145mm幅×1440mm長さ  
金網 500mm幅×1380mmコ

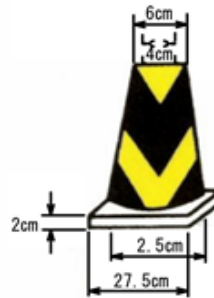
安全標識筒(セーフテーコーン)

様式 16



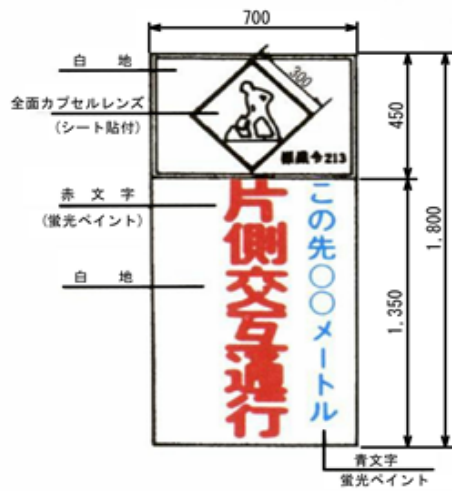
A型(工事現場用)

様式 16-1



注意灯 様式 18

道路工事中点滅警戒灯(マーカーライト等)



電池式  
(並ホヤ付)



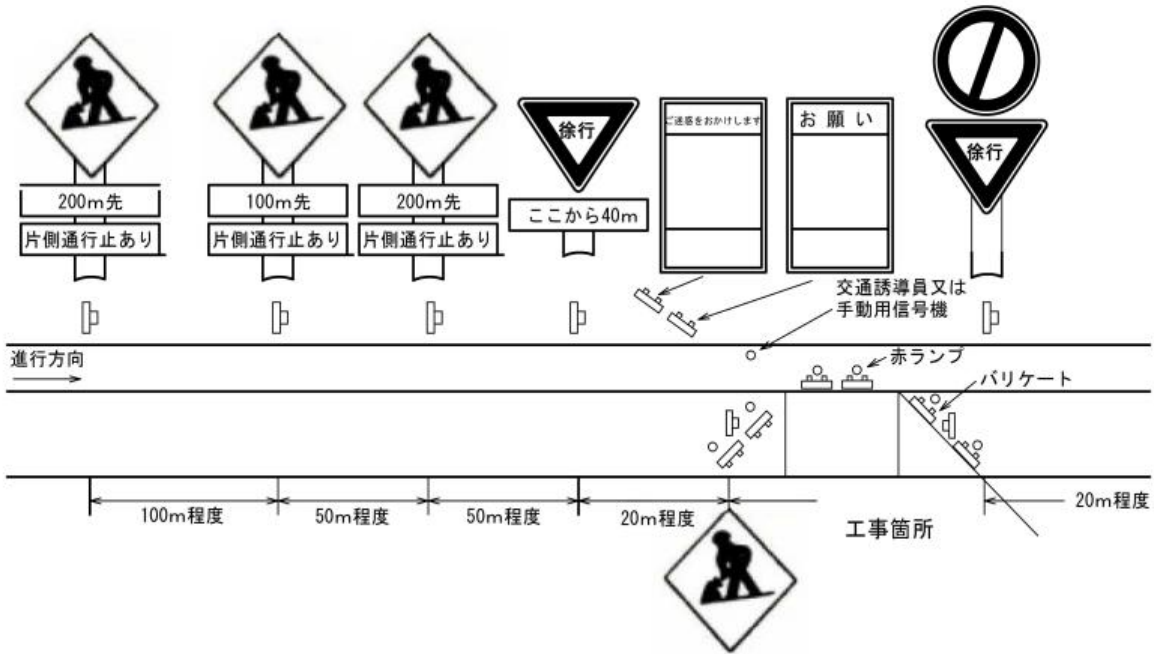
電線式

型式	高さ	規格	附属品(1組)
電源式	1.0m	100V電源用	台・ホヤ・ゴムコネクター キャップタイヤコード・点滅球
電池式	1.0m	3V特殊電池用	台・ホヤ・特殊乾電池・点滅球



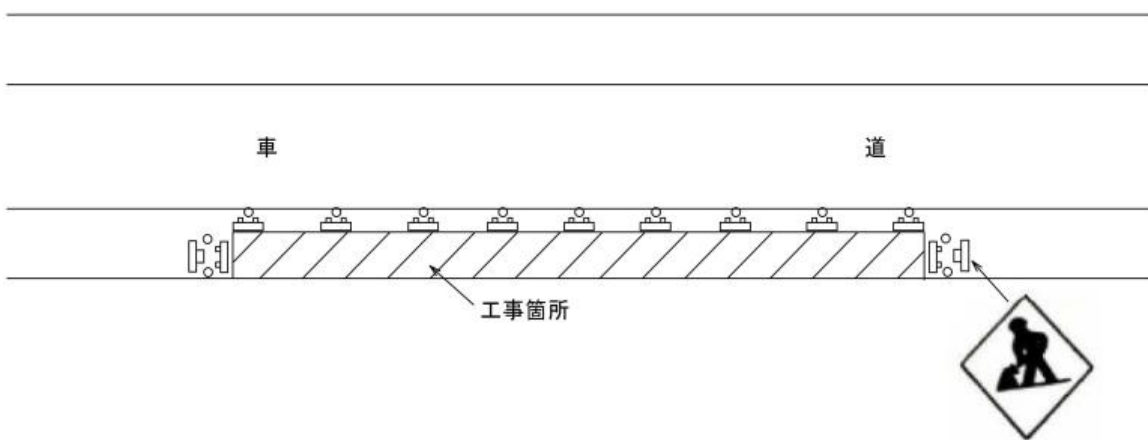
5. 占用工事に伴う道路標識等の設置標準図

標準図1 (車道上で占用工事を施工する場合)



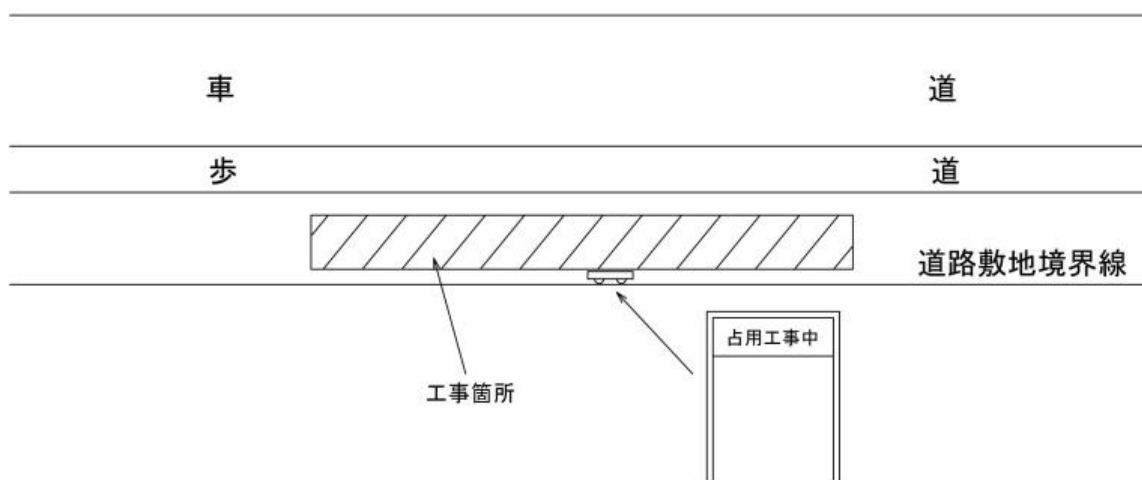
- 注 1 占用工事を夜間に行なう場合及び工事中のまま現場を夜間放置する場合には、赤ランプ(又は黄色灯)を必ず設置すること。
- 2 バリケートおよび標柱は、状況に応じ併設すること。
- 3 標準図は進行方向に対する最小限の設置例を示しているので、反対方向についてもこれと同様とし、現地の状況に応じ適宜増設すること。
- 4 工事箇所が移動した場合には、これに応じ標識等を設置例に適合させること。

標準図2 (歩道上で占用工事を施工する場合)



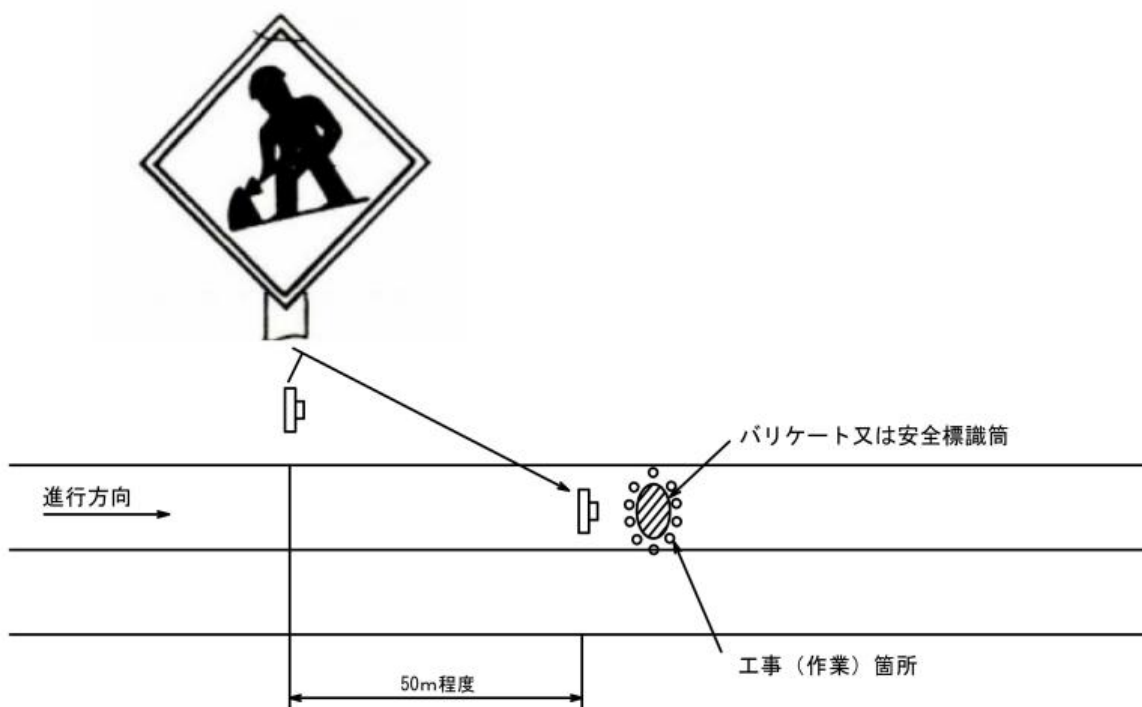
- 注 1 占用工事を夜間に行なう場合及び工事中のまま現場を夜間放置する場合には、赤ランプ(又は黄色灯)を必ず設置すること。
- 2 工事箇所が移動した場合には、これに応じ標識等を設置例に適合させること。

標準図3 (のり敷内で占用工事を施工する場合)



注 工事箇所が危害を及ぼすおそれのあるときは、バリケード、照明施設等を設置すること。

標準図4 (車道上で軽易な占用(作業)を行なう場合)



- 注 1 占用工事(作業)を夜間に行う場合は、赤ランプ(又は黄色灯)を必ず設置すること。  
2 標識図は進行方向に対する最小限の設置例を示しているので、反対方向についても同様とし、現地の状況に応じ適宜増設すること。